

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	実践英語III	
科目基礎情報							
科目番号		7A01		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		機械・電気システム工学専攻（機械工学コース）		対象学年	専2		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		Boost Your English -Practice for TOEFL ITP / 速読用配布プリント / NetAcademy					
担当教員		安部 規子,金城 博之					
到達目標							
1. 英語技能試験であるTOEFL教材を用いて、必要な英語力を身につける。 2. 多くの英文に触れ、英文に慣れ親しむ。特に一般的な内容の英文を全員がWPM120以上を目指す。 3. 毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を理解できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		TOEFLに必要な基礎的な英語力を十分身につけている。		TOEFLに必要な基礎的な英語力を概ね身につけている。		TOEFLに必要な基礎的な英語力が身につけていない。	
評価項目2		一般的な英文をWPM120の速度で八割程度理解できる。		一般的な英文をWPM100程度の速度で八割程度理解できる。		一般的な英文を八割程度理解するためにWPM80程度の速度でしか理解できない。	
評価項目3		毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を十分理解できる。		毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を概ね理解できる。		毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を全く理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE G-2							
教育方法等							
概要		・学期の前半は、TOEFL対策を中心に行う。 ・学期の後半は、実践的な場面を想定し、会話の訓練を行う。 ・学期を通して速読演習を行う。時間を計測し、伸びを記録する。					
授業の進め方・方法		・必ず辞書を持参すること。ただし携帯電話・スマートフォン等を辞書として用いることを禁止する。 ・速読演習は欠席等の場合は必ず自宅で行うこと。 ・実践英語Ⅰ・Ⅱで使用した教科書で指定するページを自宅で行うこと。					
注意点		中間試験・定期試験90%、課題レポート10%を目安として評価する。 再試験は原則として行わない。 評価基準：60点以上を合格とする。 次回の授業範囲を予習し、単語の意味等を理解しておくこと 本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。自学でNet Academyを進めること。※変更：期末試験のみ実施。各担当で試験7割、課題2割で各担当成績を9割とし平均し、それにネットアカデミー1割として計算した（学生へは周知済み）。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction		授業方針を理解する。 語学の学習姿勢を理解する。		
		2週	Module 1 Lesson 1 / 2		Understanding agreement and disagreement		
		3週	Module 1 Lesson 2 / 3		Understanding gist		
		4週	Module 1 Lesson 3 / 4		Verb tenses		
		5週	Module 1 Lesson 4 / 5		Understanding gist		
		6週	Module 1 Lesson 5 / 6		Understanding purpose		
		7週	Module 2 Lesson 1 / 2		Understanding negatives		
		8週	Module 2 Lesson 2 / 3		Understanding specific information		
	2ndQ	9週	Module 2 Lesson 3 / 4		Articles		
		10週	Module 2 Lesson 4 / 5		Comparatives and superlatives		
		11週	Module 2 Lesson 5 / 6		Understanding specific information		
		12週	Module 3 Lesson 1 / 2		Understanding idiomatic expressions		
		13週	Module 3 Lesson 2 / 3		Understanding implication		
		14週	Module 3 Lesson 3 / 4		Particles		
		15週	Module 2 Lesson 4 / 5		Preposions		
		16週	Module 2 Lesson 5 / 6		Understanding implication		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		3	前1,前2,前3,前4,前5
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3	前4,前5,前6,前11
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		3	前4,前5,前6,前16
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		3	前5,前6,前16

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前6,前8,前16
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前6,前8,前11
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前8,前9,前10
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前8,前9,前10
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前9,前11,前14
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前9,前10,前11,前14
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前9,前11,前14
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前12,前14
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前12,前13
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前12,前13,前16
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前13,前16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0